

簡単!!自分で出来るメンテナンス

【熱交換型換気システムのお手入れ】

こんにちは、横浜営業部の後藤です。

今回ご紹介するのは、熱交換型換気システムのフィルターのお手入れになります。熱交換型換気システムは、フィルターを通して綺麗になった外の空気と室内の空気を熱だけ効率的に混ぜて換気する方法になります。

営業部の
後藤です!



*掃除する場所

- 熱交換機の近くに、外からの空気をきれいにするフィルターがついています。外気のフィルターが一番汚れるため、フィルターを水洗いするか掃除機で綺麗にします。
- 同じく熱交換機の近くに室内からの空気をきれいにするフィルターがついています。少ししか汚れていないはずですが、綺麗にしましょう。
- 室内の換気口を見て汚れているところがあれば綺麗にします。
- 室外機近くの雑草を抜きます。



営業部の
泉です!



季節ごとに必要なお手入れ情報をお届けするコーナーです。

やっておきたい☆☆季節のお手入れアレコレ☆☆



(面倒だ!と感じたらご連絡ください)(笑)

北欧サッシに限らず、北米サッシや国産サッシの網の張り替えも同じようにできますので、是非チャレンジしてみてください!

①古いゴムと網を外したら、少し余分に新しい網とゴムを用意し、②専用ローラーで枠に沿って短辺から長辺に向かって押し込んでいきます。③その後はカッターで余分な網をカットすれば完成!(専用の網戸カッターも売っております)

こちらの写真は北欧サッシの網戸を張替している様子です。スチール枠に四つ角の接続部材(プラスチック)を繋げるタイプでして、あとは通常の網戸と同じになります。

今回はそんな時に使用する網戸の網が破れてしまったり劣化してしまった場合の網の張り替えについてお伝えします。

ホームセンターなどでは当たり前のように網の張り替えグッズが売っておりますので、ご自身で張り替えされる方もいらっしゃると思います。天草では、輸入サッシに加え国産サッシも扱っているため網戸の種類もたくさんあります。

【網戸の張り替え!】
梅雨も終わり暑さの本番がやって参りました。暑い夏は窓を開けて風通しを良くする方も多いかもしれませんが、虫などが入ってこないか気になってしまいませんか!

暑い夏は窓を開けて風通しを良くする方も多いかもしれませんが、虫などが入ってこないか気になってしまいませんか!

天草オーナーズ倶楽部員が勧める 暮らしの愉しみ方

暮らしの愉しみを提案するオーナーズ倶楽部のコーナーです



インドアよりアウトドア派のあなたへ
アウトドア部が送るお役立ちコラム

みんなのアウトドア

カヌーイベント*2017!!



アウトドア部・
小林です!



←天草ハウジングのホームページでオーナーズ倶楽部のより詳しく掘り下げた記事をご覧ください。

こんにちは、アウトドア部の小林です!

先月のAC7月号で、告知させて頂きました【カヌー体験ツアー2017】ですが有りがたいことに沢山の方からご応募頂きました!とても嬉しいです!ご応募して頂いた方々、どうも有難うございます!!今回は【カヌー体験ツアー2017】に先立ちまして、今年のイベントを振り返らせて頂きます!



昨年はかなりの悪天候でしたが、例年通り沢山の方にお越し頂きました!最初はカヌー体験が出来なかったのですが、みなさんと我々スタッフの願いも叶い、午後から天候に恵まれ、皆さんにカヌーを存分に楽しんで頂きました!



食事は「燻製料理」が一番ご好評頂きました!私もいくつか頂きましたが、とても美味しかったです!普通のBBQもいいですが少し変わった1品があると、皆さんにもより一層喜んで頂けますね!一番このイベントの良い所は、オーナー様と天草社員が一緒になって交流を楽しめる所や北米北欧の生活の楽しみ方をご提案出来る所です!今年も沢山の方にお会いできる事、スタッフ一同楽しみにしております!!



ホームパーティー好きのあなたへ
HOME PARTY部が送る
お役立ちコラム

おもてなし

涼し気な一品♪

HP部の
笹井です!



こんにちは、設計部の笹井です。

食欲がなくなる夏にぴったりな一品をご紹介します!スタッフに質問コーナーでもお題があがっている夏野菜を使ったゼリー寄せです!

ゼラチンにおだし(コンソメなど)と水を混ぜ煮立たせます。グラスに好きな野菜を入れ、冷ましたゼリー液を注いで冷凍庫で固まったら冷蔵庫へ。これで完成です!見た目も鮮やかで簡単なので是非作ってみてください!



バラを育てている・育てたいあなたへ
バラ部が送るお役立ちコラム

ばらいろいろいふ。

シュートの取り扱い

バラ部・
竹内です。



この季節の四季咲き品種は、2番花が終わり3番花への準備にかけているところです。

花が咲き終わった後のバラは、肥料の状態が良ければ、養分を送る花が無くなったことで養分が余っている状態です。ここで発生してくるのが「シュート」と呼ばれる生育の早い真っ直ぐな枝です。シュートは木立性とツル性とでは取り扱いが大きく違うので、注意しましょう。

まず木立性の場合、シュートは多くの場合1m前後伸びた後、花を数珠なりにつけます。花を少しでも多くつけた場合はそのまま咲かせても良いですが、花後のシュートからは良質な枝が出ることはありません。よって、木立性のシュートはツボミをつける前に、ある程度の背丈になったら、枝の先を折り曲げて成長を止めてしまいましょう。こうすることで、バラは他の枝に養分を回そうとしますので、結果的にバランスよく綺麗な花をつけることとなります。

ツル性の場合のシュートは大切に育てましょう。ツルバラのシュートは今シーズン中に花をつけることはなく、来シーズン以降に花芽をたくさんつける中心的な枝に成長していきます。ひと夏で2m程度は伸びますので、害虫や病気に気をつけて、冬の誘引時にやり易いように、支柱などに結えながら出来るだけ真っ直ぐ伸ばしてあげましょう。

バラの日ごろのお手入れについては、当社ホームページ内のオーナーズ倶楽部レポートでより詳しくご紹介しておりますので、是非ご覧ください。



ツルバラのシュートは支柱を立てるなどして大切に育てましょう。